



北海道大空高等学校

校章のデザインコンセプト「創造する可変の未来」

2021年4月に開校した、北海道大空高等学校。
学校のコンセプト「飛行機人」のように、多様で自由な解釈ができるように表現しています。モチーフは、大空の「0」や、表裏一体で無限のメビウスの輪、6つの指針などをベースとしていますが、答えは1つではなく、「問い」を感じられるようにデザインしています。

また、それぞれの円を独立させてタービンのように自由に回転させて表現することが可能です。いずれも校章と同等の価値を持ち、無限の多様性を表現します。大空高等学校が推進させる未来は多様で無限。変化することを前提として、生徒も学校も無限の未来を創りだすことを校章で表現しています。



作れる校章、遊べる校章、語れる校章 校章コミュニケーション



大空高校のコンセプトは、自由に大空に飛び立つ「飛行機人」。それなら校章だって自由がいい。

固定観念をひっくり返し、変形等をNGとするVI=校章を可変にして

校章はVIだけではなくコミュニケーションのきっかけになるように、デザインしました。

「創造する可変の未来」のメッセージを校章に込め、高校というある程度決まったルールの中でも

自分らしさを多様に表現し、みんなが個性を認め合えることを伝えています。

そこから、校章(=学校のシンボル)を通じて先生や生徒のコミュニケーションが生まれています。

校章から、わたしとあなたが見えてくる。もっと学校が好きになる。

先生たちの校章デザイン



生徒たちの校章デザイン



and more...
to future...